

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6304408号
(P6304408)

(45) 発行日 平成30年4月4日(2018.4.4)

(24) 登録日 平成30年3月16日(2018.3.16)

(51) Int.Cl. F I
G06Q 50/10 (2012.01) G06Q 50/10 Z J M
G06F 13/00 (2006.01) G06F 13/00 5 4 O E

請求項の数 3 (全 18 頁)

(21) 出願番号	特願2017-3648 (P2017-3648)	(73) 特許権者	000006747
(22) 出願日	平成29年1月12日 (2017.1.12)		株式会社リコー
(62) 分割の表示	特願2012-240771 (P2012-240771) の分割		東京都大田区中馬込1丁目3番6号
原出願日	平成24年10月31日 (2012.10.31)	(74) 代理人	100107766
(65) 公開番号	特開2017-73173 (P2017-73173A)		弁理士 伊東 忠重
(43) 公開日	平成29年4月13日 (2017.4.13)	(74) 代理人	100070150
審査請求日	平成29年2月10日 (2017.2.10)		弁理士 伊東 忠彦
		(72) 発明者	小川 みなみ
			東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式 会社リコー内
		審査官	田付 徳雄

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理装置、情報提供方法及びプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークを介して接続される機器と連携した1以上のサービスをそれぞれ提供する情報処理装置であって、

組織を識別する組織識別情報毎に、前記1以上のサービスの提供を受ける領域を特定する領域特定情報を関連付けて記憶する第1の記憶手段と、

前記1以上のサービスそれぞれにおいて、サービスを提供する領域毎の約款のデータをそれぞれ記憶する第2の記憶手段と、

ユーザが操作する操作端末上に表示されている画面上でのユーザ操作に応じて、前記1以上のサービスのうちの一のサービスを特定する情報を受信する受信手段と、

前記受信手段で受信した情報により特定される前記一のサービスの前記第2の記憶手段に記憶されている約款のデータのうち、前記ユーザが属する組織を識別する前記組織識別情報に関連付けて記憶されている約款のデータに基づく約款を表示した画面を、前記操作端末に送信する送信手段と

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

ネットワークを介して接続される機器と連携した1以上のサービスをそれぞれ提供する情報処理装置によって実行される情報提供方法であって、

組織を識別する組織識別情報毎に、前記1以上のサービスの提供を受ける領域を特定する領域特定情報を関連付けて第1の記憶手段に記憶するステップと、

10

20

前記 1 以上のサービスそれぞれにおいて、サービスを提供する領域毎の約款のデータをそれぞれ第 2 の記憶手段に記憶するステップと、

ユーザが操作する操作端末上に表示されている画面上でのユーザ操作に応じて、前記 1 以上のサービスのうちの一のサービスを特定する情報を受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信した情報により特定される前記一のサービスの前記第 2 の記憶手段に記憶されている約款のデータのうち、前記ユーザが属する組織を識別する前記組織識別情報に関連付けて記憶されている約款のデータに基づく約款を表示した画面を、前記操作端末に送信する送信ステップと

を有することを特徴とする情報提供方法。

【請求項 3】

ネットワークを介して接続される機器と連携した 1 以上のサービスをそれぞれ提供する情報処理装置を、

組織を識別する組織識別情報毎に、前記 1 以上のサービスの提供を受ける領域を特定する領域特定情報に関連付けて記憶する第 1 の記憶手段、

前記 1 以上のサービスそれぞれにおいて、サービスを提供する領域毎の約款のデータをそれぞれ記憶する第 2 の記憶手段、

ユーザが操作する操作端末上に表示されている画面上でのユーザ操作に応じて、前記 1 以上のサービスのうちの一のサービスを特定する情報を受信する受信手段、

前記受信手段で受信した情報により特定される前記一のサービスの前記第 2 の記憶手段に記憶されている約款のデータのうち、前記ユーザが属する組織を識別する前記組織識別情報に関連付けて記憶されている約款のデータに基づく約款を表示した画面を、前記操作端末に送信する送信手段

として機能させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、情報処理装置、情報提供方法及びプログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

例えば文字を各自然言語で表示する方法、所謂ローカライズする方法は従来から知られている（例えば特許文献 1 参照）。

【0003】

柔軟なローカライズを容易にすることを目的とした処理装置は、記憶手段に記憶されている一つ以上の第一のリソースデータ群の中からプログラム部品に設定されている第一のリソース情報に基づいてプログラム部品毎に第一のリソースデータ群を選択し、選択した第一のリソースデータ群から第一のリソース情報に基づいてリソースデータを取得するリソース取得手段と、取得したリソースデータをプログラム部品毎に再生するリソース再生手段と、を備える。

【0004】

従来の処理装置では、第一のリソースデータ群を応用プログラムから独立させることにより、第一のリソースデータ群の編集に開発環境が要求されず開発者以外でも容易に編集できるようにしていた。

【0005】

また、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置において、その装置の利用言語が如何なるものであっても、共通なテンプレートを用いてネットワークデバイス等の周辺装置から情報を取得し、且つ、情報処理装置で利用している言語に合わせた情報を得ることを可能ならしめる技術も従来から知られている（例えば特許文献 2 参照）。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

10

20

30

40

50

近年、オフィス内ネットワーク等のプライベートなネットワーク上のサーバを利用することなく、クラウドサービスに代表されるようなパブリックなネットワーク上のサーバを利用する利用形態が普及している。今後は、このような利用形態において、グローバルにサービスを展開していくことが考えられている。

【0007】

しかし、サービス展開したいサービスは国ごとに異なる。このため、サービスの契約や導入は、機器を販売する販社などが個別に行わなければならなかった。したがって、従来はグローバルなサービス展開を効率よく行うことが難しかった。

【0008】

本発明の実施の形態は、上記の点に鑑みなされたもので、サービス展開を効率よく行うことができる情報処理装置、情報提供方法及びプログラムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0009】

上記目的を達成するため、本願請求項1は、ネットワークを介して接続される機器と連携した1以上のサービスをそれぞれ提供する情報処理装置であって、組織を識別する組織識別情報毎に、前記1以上のサービスの提供を受ける領域を特定する領域特定情報に関連付けて記憶する第1の記憶手段と、前記1以上のサービスそれぞれにおいて、サービスを提供する領域毎の約款のデータをそれぞれ記憶する第2の記憶手段と、ユーザが操作する操作端末上に表示されている画面上でのユーザ操作に応じて、前記1以上のサービスのうちの一のサービスを特定する情報を受信する受信手段と、前記受信手段で受信した情報により特定される前記一のサービスの前記第2の記憶手段に記憶されている約款のデータのうち、前記ユーザが属する組織を識別する前記組織識別情報に関連付けて記憶されている約款のデータに基づく約款を表示した画面を、前記操作端末に送信する送信手段とを有することを特徴とする。

【発明の効果】

【0010】

本発明の実施の形態によれば、サービス展開を効率よく行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本実施形態に係るシステムの一例の構成図である。

【図2】本実施形態に係るコンピュータシステムの一例のハードウェア構成図である。

【図3】本実施形態に係る端末装置の一例の処理ブロック図である。

【図4】本実施形態に係るサービス提供システムの一例の処理ブロック図である。

【図5】組織管理情報の一例の構成図である。

【図6】ユーザ管理情報の一例の構成図である。

【図7】ライセンス管理情報の一例の構成図である。

【図8】サービス管理情報の一例の構成図である。

【図9】本実施形態に係るポータルサービスアプリの一例の処理ブロック図である。

【図10】本実施形態に係るシステムの処理手順の一例を表したシーケンス図である。

【図11】トップ画面の一例のイメージ図である。

【図12】サービス一覧画面の一例のイメージ図である。

【図13】サービス一覧画面の他の例のイメージ図である。

【図14】本実施形態に係るシステムの処理手順の他の例を表したシーケンス図である。

【図15】契約サービス更新画面の一例のイメージ図である。

【図16】利用規約画面の一例のイメージ図である。

【発明を実施するための形態】

【0012】

次に、本発明の実施の形態について、詳細に説明する。

[第1の実施形態]

<システム構成>

10

20

30

40

50

図1は本実施形態に係るシステムの一例の構成図である。図1のシステム1はオフィス内ネットワーク等のプライベートなネットワークN1と、クラウドサービスに代表されるようなパブリックなネットワークN2と、インターネットなどのネットワークN3とを有する。

【0013】

ネットワークN1とネットワークN3とはネットワークN1側のファイアウォールFWによって接続されている。ファイアウォールFWはネットワークN1とネットワークN3との接点に設置され、ネットワークN1からネットワークN3へのアクセスを中継する。

【0014】

また、ネットワークN2とネットワークN3とは、ネットワークN2側のアクセス制御装置21によって接続されている。ネットワークN2はアクセス制御装置21によってセキュリティが保護されている。

【0015】

ネットワークN1は、ファイアウォールFWの内側にあるプライベートなネットワークである。ネットワークN1にはクライアント端末11、携帯端末12、複合機などの画像形成装置14、プロジェクタ15、電子黒板等のその他の機器16が接続されている。

【0016】

クライアント端末11は端末装置の一例である。クライアント端末11は一般的なOSなどが搭載された情報処理装置(コンピュータシステム)によって実現できる。クライアント端末11は無線による通信の手段または有線による通信の手段を有する。クライアント端末11は、タブレットPC、ノートPCなど、ユーザが操作可能な端末である。

【0017】

携帯端末12は端末装置の一例である。携帯端末12は、無線による通信の手段または有線による通信の手段を有している。携帯端末12は、スマートフォンや携帯電話、タブレットPC、ノートPCなど、ユーザが携帯可能な端末である。

【0018】

画像形成装置14は複合機などの画像形成機能を有する装置である。画像形成装置14は無線による通信の手段または有線による通信の手段を有する。画像形成装置14は複合機、コピー機、スキャナ、プリンタ、レーザプリンタなど、画像形成に係る処理を行う装置である。プロジェクタ15は画像を投影する装置である。プロジェクタ15は無線による通信の手段または有線による通信の手段を有する。

【0019】

図1では、一例としてクライアント端末11、携帯端末12、画像形成装置14、プロジェクタ15、その他の機器16がそれぞれ一台である例を示しているが複数台であってもよい。

【0020】

ネットワークN2は、アクセス制御装置21によってインターネット等のネットワークN3に接続されている。ネットワークN2には、アクセス制御装置21、プリントサービス提供装置22、スキャンサービス提供装置23、ポータルサービス提供装置24、他サービス提供装置25が接続されている。図1のシステム1は、アクセス制御装置21、プリントサービス提供装置22、スキャンサービス提供装置23、ポータルサービス提供装置24、他サービス提供装置25がサービス提供システムを実現している。

【0021】

アクセス制御装置21はプリントサービス提供装置22が提供するプリントサービスやスキャンサービス提供装置23が提供するスキャンサービス、ポータルサービス提供装置24が提供するポータルサービスなど、各サービスへのログインを制御する。

【0022】

アクセス制御装置21、プリントサービス提供装置22、スキャンサービス提供装置23、ポータルサービス提供装置24、他サービス提供装置25は、一台以上の情報処理装置(コンピュータシステム)によって実現される。

10

20

30

40

50

【 0 0 2 3 】

なお、図 1 のシステム 1 のプリントサービス提供装置 2 2、スキャンサービス提供装置 2 3、ポータルサービス提供装置 2 4、他サービス提供装置 2 5 は一台のコンピュータに統合して実現してもよいし、複数のコンピュータに分散して実現してもよい。

【 0 0 2 4 】

また、ネットワーク N 2 側のサービスの一部はネットワーク N 1 にあってもよい。携帯端末 1 2 は、オフィス内ネットワーク等のプライベートなネットワーク N 1 以外にあってもよい。図 1 のシステム 1 では携帯端末 1 2 がネットワーク N 1 と、インターネットなどのネットワーク N 3 とにある例を示している。

【 0 0 2 5 】

< ハードウェア構成 >

図 1 のクライアント端末 1 1、携帯端末 1 2、アクセス制御装置 2 1、プリントサービス提供装置 2 2、スキャンサービス提供装置 2 3、ポータルサービス提供装置 2 4、他サービス提供装置 2 5 は、例えば図 2 に示すハードウェア構成のコンピュータシステムにより実現される。図 2 は本実施形態に係るコンピュータシステムの一例のハードウェア構成図である。

【 0 0 2 6 】

図 2 に示したコンピュータシステム 5 0 0 は、入力装置 5 0 1、表示装置 5 0 2、外部 I / F 5 0 3、R A M (Random Access Memory) 5 0 4、R O M (Read Only Memory) 5 0 5、C P U (Central Processing Unit) 5 0 6、通信 I / F 5 0 7、及び H D D (Hard Disk Drive) 5 0 8 などを備え、それぞれがバス B で相互に接続されている。

【 0 0 2 7 】

入力装置 5 0 1 はキーボードやマウス、タッチパネルなどを含み、ユーザが各操作信号を入力するのに用いられる。表示装置 5 0 2 はディスプレイなどを含み、コンピュータシステム 5 0 0 による処理結果を表示する。

【 0 0 2 8 】

通信 I / F 5 0 7 はコンピュータシステム 5 0 0 をネットワーク N 1 ~ N 3 に接続するインタフェースである。これにより、コンピュータシステム 5 0 0 は通信 I / F 5 0 7 を介してデータ通信を行うことができる。

【 0 0 2 9 】

H D D 5 0 8 はプログラムやデータを格納している不揮発性の記憶装置である。格納されるプログラムやデータには、例えばコンピュータシステム 5 0 0 全体を制御する基本ソフトウェアである O S (Operating System) や、O S 上において各種機能を提供するアプリケーションソフトウェアなどがある。H D D 5 0 8 は格納しているプログラムやデータを所定のファイルシステム及び / 又は D B (データベース) により管理している。

【 0 0 3 0 】

外部 I / F 5 0 3 は、外部装置とのインタフェースである。外部装置には、記録媒体 5 0 3 a などがある。これにより、コンピュータシステム 5 0 0 は外部 I / F 5 0 3 を介して記録媒体 5 0 3 a の読み取り及び / 又は書き込みを行うことができる。記録媒体 5 0 3 a にはフレキシブルディスク、C D (Compact Disk)、D V D (Digital Versatile Disk)、S D メモリカード (SD Memory card)、U S B メモリ (Universal Serial Bus memory) などがある。

【 0 0 3 1 】

R O M 5 0 5 は、電源を切ってもプログラムやデータを保持することができる不揮発性の半導体メモリ (記憶装置) である。R O M 5 0 5 には、コンピュータシステム 5 0 0 の起動時に実行される B I O S (Basic Input/Output System)、O S 設定、及びネットワーク設定などのプログラムやデータが格納されている。R A M 5 0 4 は、プログラムやデータを一時保持する揮発性の半導体メモリ (記憶装置) である。

【 0 0 3 2 】

C P U 5 0 6 は、R O M 5 0 5 や H D D 5 0 8 などの記憶装置からプログラムやデータ

10

20

30

40

50

をRAM 504上に読み出し、処理を実行することで、コンピュータシステム500全体の制御や機能を実現する演算装置である。

【0033】

本実施形態に係る図1のクライアント端末11、携帯端末12、アクセス制御装置21、プリントサービス提供装置22、スキャンサービス提供装置23、ポータルサービス提供装置24、他サービス提供装置25はコンピュータシステム500のハードウェア構成により、後述するような各種処理を実現できる。

【0034】

<ソフトウェア構成>

《端末装置》

本実施形態に係るクライアント端末11、携帯端末12などの端末装置は、例えば図3に示す処理ブロックにより実現される。図3は、本実施形態に係る端末装置の一例の処理ブロック図である。

【0035】

端末装置30はプログラムを実行することにより、入力受付部31、表示制御部32を実現している。入力受付部31はタッチパネル接触操作、キーボード入力操作などのユーザ操作による入力を入力装置501から受け付ける。表示制御部32は表示装置502への表示を制御する。

【0036】

《サービス提供システム》

本実施形態に係るサービス提供システムは例えば図4に示す処理ブロックにより実現される。図4は本実施形態に係るサービス提供システムの一例の処理ブロック図である。図4のサービス提供システム50は、プログラムを実行することにより、サービスアプリ51、プラットフォーム52、管理データ記憶部53及びプラットフォームAPI(Application Programming Interface)54を実現している。

【0037】

図4のサービスアプリ51は、プリントサービスアプリ61、スキャンサービスアプリ62、ポータルサービスアプリ63、1つ以上のその他のサービスアプリ64を一例として有する。プリントサービスアプリ61はプリントサービスを提供するアプリケーションである。スキャンサービスアプリ62はスキャンサービスを提供するアプリケーションである。ポータルサービスアプリ63はポータルサービスを提供するアプリケーションである。また、その他のサービスアプリ64は何らかのサービスを提供するアプリケーションである。

【0038】

プラットフォームAPI54はプリントサービスアプリ61、スキャンサービスアプリ62、ポータルサービスアプリ63、その他のサービスアプリ64などのサービスアプリ51が、プラットフォーム52を利用するためのインタフェースである。プラットフォームAPI54はサービスアプリ51からの要求をプラットフォーム52が受信するために設けられた予め定義されたインタフェースであり、例えば関数やクラス等により構成される。なお、サービス提供システム50を複数の情報処理装置に分散して構成する場合、プラットフォームAPI54にはネットワーク経由で利用可能な例えばWeb APIを利用できる。

【0039】

図4のプラットフォーム52は、認証処理部71、機器通信部72、データ処理部73、セッション管理部74、ライセンス管理部75、組織情報管理部77、ユーザ情報管理部78、サービス管理部79を一例として有する。

【0040】

認証処理部71はクライアント端末11などのオフィス機器からのログイン要求に基づいて認証を実行する。オフィス機器は、クライアント端末11、携帯端末12、画像形成装置14、プロジェクタ15、その他の機器16などの総称である。

10

20

30

40

50

【 0 0 4 1 】

機器通信部 7 2 はオフィス機器との通信を実行する。データ処理部 7 3 はサービスアプリ 5 1 からの要求に基づいてデータ処理を実行する。セッション管理部 7 4 はオフィス機器とのセッションを管理する。

【 0 0 4 2 】

ライセンス管理部 7 5 はライセンス管理情報を管理する。組織情報管理部 7 7 は組織管理情報を管理する。ユーザ情報管理部 7 8 はユーザ管理情報を管理する。サービス管理部 7 9 はサービス管理情報を管理する。

【 0 0 4 3 】

管理データ記憶部 5 3 は、組織管理情報記憶部 9 1、ユーザ管理情報記憶部 9 2、ライセンス管理情報記憶部 9 3、サービス管理情報記憶部 9 4、データストレージ 9 5 を一例として有する。

10

【 0 0 4 4 】

組織管理情報記憶部 9 1 は、後述の組織管理情報を記憶する。ユーザ管理情報記憶部 9 2 は、後述のユーザ管理情報を記憶する。ライセンス管理情報記憶部 9 3 は、後述のライセンス管理情報を記憶する。サービス管理情報記憶部 9 4 は、後述のサービス管理情報を記憶する。データストレージ 9 5 はその他のデータ等を記憶する。

【 0 0 4 5 】

プラットフォーム 5 2 は、複数のサービスアプリ 5 1 に共通する機能又は複数のサービスアプリ 5 1 から利用される基本機能等を含む。本実施形態において、認証処理部 7 1、機器通信部 7 2、データ処理部 7 3、セッション管理部 7 4、ライセンス管理部 7 5、組織情報管理部 7 7、ユーザ情報管理部 7 8、サービス管理部 7 9 等は、プラットフォーム 5 2 に属する。プラットフォーム 5 2 の各部の機能は、プラットフォーム A P I 5 4 を介してサービスアプリ 5 1 に公開されている。

20

【 0 0 4 6 】

換言すれば、サービスアプリ 5 1 は、プラットフォーム A P I 5 4 によって公開されている範囲においてこれら各部の機能を利用可能である。なお、図 4 に示されるように、サービス提供システム 5 0 によって提供されるサービスは、クライアント端末 1 1、携帯端末 1 2、画像形成装置 1 4、プロジェクタ 1 5 以外に、会議システム、ICレコーダ、デジタルカメラや、その他の機器等に関して実行されてもよい。

30

【 0 0 4 7 】

また、図 4 に示される各ソフトウェア及び各記憶部の分類形態は、一例であり、本実施形態を実施するために、サービス提供システム 5 0 の各ソフトウェア及び各記憶部が、図 4 に示されるような階層で分類されていることは必須ではない。すなわち、クライアント端末 1 1、携帯端末 1 2、画像形成装置 1 4、プロジェクタ 1 5 などのオフィス機器が、サービスアプリ 5 1 と連携可能であれば、サービス提供システム 5 0 におけるソフトウェア及び記憶部の階層関係等は、特定のものに限定されない。

【 0 0 4 8 】

図 5 は組織管理情報の一例の構成図である。図 5 の組織管理情報はデータ項目として組織 ID、組織名、国などを有する。組織 ID は、企業、部署などのグループを特定する情報である。組織 ID は組織という言葉に限定されるものではなく、例えば契約を識別する情報であってもよい。なお、組織 ID は一意である。組織名はグループの名称である。国はサービスを利用する国や地域である。

40

【 0 0 4 9 】

図 6 はユーザ管理情報の一例の構成図である。図 6 のユーザ管理情報はデータ項目として組織 ID、ユーザ ID、パスワード、ロール、1 つ以上のアドレス情報、姓、名、使用言語などを有する。ユーザ管理情報は組織 ID 単位で情報を管理する。ユーザ ID、パスワードはサービス提供システム 5 0 側でユーザを特定する情報である。ユーザ ID はユーザ名であってもよい。パスワードは必須でない。

【 0 0 5 0 】

50

さらに、ユーザIDはユーザが所持する電子媒体（例えばICカード）を代わりに用いてもよい。組織IDと対応付けられたユーザID、パスワードは一意であるが、組織IDが異なれば重複していてもよい。ロールはユーザの役割（管理者、利用者）を識別する情報である。アドレス情報はユーザのメールアドレスである。姓及び名はユーザの苗字及び名前である。使用言語はユーザが使用する言語である。

【0051】

図7はライセンス管理情報の一例の構成図である。図7のライセンス管理情報はデータ項目として組織ID、開始日、1つ以上の契約サービス、アドレス情報などを有する。

【0052】

開始日は契約サービスの利用を開始した日である。契約サービスは組織が契約により利用可能なサービスを特定する情報である。アドレス情報は例えば組織の管理者のメールアドレスである。

10

【0053】

図8はサービス管理情報の一例の構成図である。図8のサービス管理情報はデータ項目としてサービス、国、約款データなどを有する。図8のサービス管理情報はサービス及び国と約款データとを紐付けて記憶している。サービスはサービスIDやサービス名などのサービスを特定する情報である。国はサービスを利用する国や地域である。約款データは約款を表示するためのデータである。

【0054】

《ポータルサービスアプリ》

20

ポータルサービスアプリ63は、例えば図9に示す処理ブロックにより実現される。図9は本実施形態に係るポータルサービスアプリの一例の処理ブロック図である。ポータルサービスアプリ63は、コンピュータシステム500を、ポータル処理部101として機能させる。ポータル処理部101はポータルサービスに関する処理を行う。なお、ポータル処理部101が行う処理の詳細は後述する。

【0055】

<処理の詳細>

以下では、本実施形態に係るシステム1の処理の詳細について説明する。ここでは販社等と契約した組織の管理者や利用者などのユーザが、サービス提供システム50にログイン可能な状態になった後の処理について説明する。図10は本実施形態に係るシステムの処理手順の一例を表したシーケンス図である。

30

【0056】

ユーザは端末装置30からサービス提供システム50のサイトにアクセスする。ポータルサービスアプリ63のポータル処理部101は端末装置30にトップ画面1000の表示を要求する。

【0057】

図11はトップ画面の一例のイメージ図である。トップ画面1000はログインをする為に必要な組織ID、ユーザID及びパスワードを入力する入力欄1002と、ログインボタン1003と、を有する。端末装置30の表示制御部32はトップ画面1000を表示装置502に表示する。

40

【0058】

ステップS1において、ユーザは端末装置30の入力装置501を操作し、ログインをする為に必要な組織ID、ユーザID及びパスワードを入力欄1002に入力し、ログインボタン1003をクリック（選択）する。

【0059】

ステップS2において、端末装置30はトップ画面1000のログインボタン1003をクリックされると、入力欄1002に入力された組織ID、ユーザID及びパスワードをポータルサービスアプリ63のポータル処理部101に送信し、ログインを要求する。

【0060】

ステップS3において、ポータル処理部101はプラットフォーム52の認証処理部7

50

1 に組織 ID、ユーザ ID 及びパスワードを送信し、ユーザのログインを要求する。認証処理部 7 1 は受信した組織 ID、ユーザ ID 及びパスワードが紐付いて図 6 のユーザ管理情報に記憶されていれば、ログインが成功と判断する。ここではログインが成功したものとして説明を続ける。

【 0 0 6 1 】

ステップ S 4 において、認証処理部 7 1 はポータルサービスアプリ 6 3 のポータル処理部 1 0 1 にログインが成功したことを表すログイン情報を返す。ログイン情報には、組織 ID、ユーザ ID 及びパスワードの情報が含まれる。

【 0 0 6 2 】

ログインが成功すると、ポータル処理部 1 0 1 はステップ S 5 において、組織情報管理部 7 7 にログイン情報を送信し、国情報の取得を要求する。組織情報管理部 7 7 はログイン情報に含まれる組織 ID と紐付けられた国を、図 5 の組織管理情報から読み出す。組織情報管理部 7 7 はステップ S 6 において、組織管理情報から読み出した国を国情報としてポータル処理部 1 0 1 に返す。

10

【 0 0 6 3 】

ステップ S 7 において、ポータル処理部 1 0 1 は国情報をサービス管理部 7 9 に送信して提供サービスリストの取得を要求する。サービス管理部 7 9 はポータル処理部 1 0 1 から受信した国情報と紐付けられたサービスのリスト（サービスリスト）を、図 8 のサービス管理情報から読み出す。サービス管理部 7 9 はステップ S 8 において、サービス管理情報から読み出したサービスリストをポータル処理部 1 0 1 に返す。

20

【 0 0 6 4 】

ステップ S 9 において、ポータル処理部 1 0 1 はログイン情報に含まれる組織 ID をライセンス管理部 7 5 に送信して契約サービスの取得を要求する。ライセンス管理部 7 5 はポータル処理部 1 0 1 から受信した組織 ID と紐付けられた契約サービスを、図 7 のライセンス管理情報から読み出す。ライセンス管理部 7 5 はステップ S 1 0 において、ライセンス管理情報から読み出した契約サービスをポータル処理部 1 0 1 に返す。

【 0 0 6 5 】

ステップ S 1 1 において、ポータル処理部 1 0 1 はステップ S 8 でサービス管理部 7 9 から返されたサービスリストと、ステップ S 1 0 でライセンス管理部 7 5 から返された契約サービスとに基づき、ログインしたユーザが利用可能なサービスのリスト（サービスリスト）を含むサービス一覧画面を生成する。

30

【 0 0 6 6 】

サービス管理部 7 9 から返されたサービスリストは、ログインしたユーザの国で提供するサービスのリストである。また、ライセンス管理部 7 5 から返された契約サービスはログインしたユーザが契約により利用可能なサービスを表している。ポータル処理部 1 0 1 はステップ S 8 で返されたユーザの国で提供するサービスのリストと、ステップ S 1 0 で返されたユーザが契約により利用可能なサービスとに基づき、ユーザに提供可能なサービスのリスト（契約により新たに利用可能となるサービスのリスト）や、ユーザが利用可能なサービスのリスト（既に契約済みで利用することの出来るサービスのリスト）を生成できる。

40

【 0 0 6 7 】

なお、ログインしたユーザが契約により利用可能なサービスは、有償であっても無償であってもよい。例えばログインしたユーザが利用可能なサービスリストは、機器を購入すれば無償で利用できる基本サービスと、契約により有償で利用できるオプションサービスとを含んでいてもよい。

【 0 0 6 8 】

ステップ S 1 2 において、ポータル処理部 1 0 1 はログイン情報を端末装置 3 0 に返すと共に、例えば図 1 2 又は図 1 3 に示すようなサービス一覧画面の表示を端末装置 3 0 に要求する。ステップ S 1 3 において、端末装置 3 0 の表示制御部 3 2 は図 1 2 又は図 1 3 に示すようなサービス一覧画面 1 0 1 0、1 0 2 0 を表示装置 5 0 2 に表示する。

50

【 0 0 6 9 】

図 1 2 はサービス一覧画面の一例のイメージ図である。図 1 3 はサービス一覧画面の他の例のイメージ図である。図 1 2 のサービス一覧画面 1 0 1 0 は、ログインしたユーザが利用可能なサービスリストとして、スキャンサービス、オンラインストレージサービス及びドキュメントサービスを表示する。また、図 1 3 のサービス一覧画面 1 0 2 0 は、ログインしたユーザが利用可能なサービスリストとして、スキャンサービス及びオンラインストレージサービスを表示する。図 1 2 及び図 1 3 に示すように、ログインしたユーザの組織に紐づく国情報によって、サービス一覧画面 1 0 1 0 に表示されるサービスリスト及びサービス一覧画面 1 0 2 0 に表示されるサービスリストは異なることがある。

【 0 0 7 0 】

本実施形態に係るシステム 1 では、ログインしたユーザの組織に紐づく国情報を取得できるので、提供するサービスが国によって異なる場合であっても、ログインしたユーザの組織に紐づく国によって提供するサービスを異ならせることができる。

【 0 0 7 1 】

本実施形態に係るシステム 1 では契約サービスの更新（期間延長など）を例えば図 1 4 のシーケンス図に示す処理手順で行う。図 1 4 は本実施形態に係るシステムの処理手順の他の例を表したシーケンス図である。なお、契約サービスの追加を行う場合も契約サービスの更新と同様である。

【 0 0 7 2 】

管理者は契約サービスの更新を行う場合、ログイン後に、例えば図 1 2 のサービス一覧画面 1 0 1 0 の「Service Management」ボタン 1 0 1 1 をクリックする。ポータルサービスアプリ 6 3 のポータル処理部 1 0 1 は端末装置 3 0 に契約サービス更新画面 1 0 3 0 の表示を要求する。

【 0 0 7 3 】

図 1 5 は契約サービス更新画面の一例のイメージ図である。契約サービス更新画面 1 0 3 0 は、契約サービスを更新する為に必要なサービス ID を入力する入力欄 1 0 3 1 を有する。端末装置 3 0 の表示制御部 3 2 は契約サービス更新画面 1 0 3 0 を表示装置 5 0 2 に表示する。

【 0 0 7 4 】

ステップ S 2 1 において、管理者は端末装置 3 0 の入力装置 5 0 1 を操作し、入力欄 1 0 3 1 に契約サービスを更新する為に必要なサービス ID を入力し、次へボタン 1 0 3 2 をクリックする。なお、サービス ID はサービスを一意に識別する情報であっても、販社等と契約サービスの更新を契約したことを表す情報であってもよい。

【 0 0 7 5 】

ステップ S 2 2 において、端末装置 3 0 は契約サービス更新画面 1 0 3 0 の次へボタン 1 0 3 2 をクリックされると、入力欄 1 0 3 1 に入力されたサービス ID と、ステップ S 1 2 で受信したログイン情報と、をポータルサービスアプリ 6 3 のポータル処理部 1 0 1 に送信し、契約サービスの更新を要求する。

【 0 0 7 6 】

ポータル処理部 1 0 1 はステップ S 2 3 において、組織情報管理部 7 7 にログイン情報を送信し、国情報の取得を要求する。組織情報管理部 7 7 はログイン情報に含まれる組織 ID と紐付けられた国を、図 5 の組織管理情報から読み出す。ステップ S 2 4 において組織情報管理部 7 7 は組織管理情報から読み出した国を国情報としてポータル処理部 1 0 1 に返す。

【 0 0 7 7 】

ステップ S 2 5 において、ポータル処理部 1 0 1 はステップ S 2 2 で端末装置 3 0 から受信したサービス ID と、ステップ S 2 4 で組織情報管理部 7 7 から取得した国情報とをサービス管理部 7 9 に送信して約款の取得を要求する。

【 0 0 7 8 】

サービス管理部 7 9 はポータル処理部 1 0 1 から受信したサービス ID（サービス）及

10

20

30

40

50

び国情報（国）と紐付けられた約款（約款データ）を、図8のサービス管理情報から読み出す。サービス管理部79はステップS26において、サービス管理情報から読み出した約款データをポータル処理部101に返す。

【0079】

ステップS27において、ポータル処理部101は例えば図16に示すような利用規約画面1040の表示を端末装置30に要求する。ステップS28において、端末装置30の表示制御部32は、サービス及び国に紐付く約款を利用規約欄1041に表示した利用規約画面1040を、表示装置502に表示する。

【0080】

図16は利用規約画面の一例のイメージ図である。利用規約画面1040は利用規約を表示する利用規約欄1041と、利用規約に同意することを表すチェックボックス1042と、次の画面に進むための次へボタン1043と、を有する。管理者は利用規約欄1041に表示された、サービス及び国に紐付く約款を確認する。

10

【0081】

そして、管理者は利用規約に同意することを表すチェックボックス1042にチェックを入れた後、次の画面に進むための次へボタン1043を押下する。なお、管理者が利用規約画面1040の次へボタン1043を押下したあと、サービス提供システム50のライセンス管理部75は、契約サービス更新画面1030に入力されたサービスID及び管理者に紐付く組織IDを紐付けてライセンス管理情報に登録することでサービスを有効化する。

20

【0082】

本実施形態に係るシステム1では、ログインしたユーザの組織に紐付く国情報を取得できるので、提供するサービスが国によって異なる場合であっても、ログインしたユーザの組織に紐付く国及び提供するサービスによって提示する約款を異ならせることができる。

【0083】

<まとめ>

本実施形態に係るシステム1によれば、ログインしたユーザの組織に紐付く国によって提供するサービスや約款を切り替えることができるので、国によらず共通のトップ画面1000を提供できる。したがって、本実施形態に係るシステム1によれば、グローバルなサービス展開を効率よく行うことができる。

30

【0084】

本発明は、具体的に開示された上記の実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲から逸脱することなく、種々の変形や変更が可能である。

【0085】

なお、組織IDは組織識別情報の一例である。組織識別情報は組織という言葉に限定されるものではなく、部署などのグループを特定する情報や契約を識別する情報なども含むようにしてもよい。また、国情報は国の他、地域、複数の国を含む共同体、連合なども含むようにしてもよく、領域を特定する領域特定情報の一例である。

【0086】

本発明は、例えば国や地域によって法制度が異なるために、それぞれの法制度を考慮したサービスを提供したいといった場合に適用できる。つまり、本発明によれば、例えば領域に応じた適切なサービスを提供することができるため、グローバルに展開する共通したサービス（スキャン、プリント、機器管理など、広く共通認識できるサービス）に対して、各国や地域毎の差異を考慮した行き届いたサービスの提供が可能となる。

40

【0087】

例えば、スキャンサービスの一例として、スキャン画像をオンラインストレージに保存するサービス（以下、スキャントストレージと言う。）があり、このスキャントストレージが複数の国において共通概念で認識できるサービスであったとしても、国や地域に応じてそのストレージ先に制約が生じる場合が考えられる。例えば、ある国ではストレージAをストレージ先の候補とするが、ある国ではストレージAを候補としないといった場

50

合である。

【 0 0 8 8 】

また例えば、契約を締結する国によってプライバシー保護のための個人情報の取り扱いが異なる場合に、組織やユーザの情報を利用したサービスを提供する際には、それぞれの国の法制度に応じた個人情報の取り扱いを記載した約款による契約を結ぶ必要があり、このような場合も本発明を適用することで適切なサービスの契約を行うことが出来る。

【 0 0 8 9 】

特許請求の範囲に記載した第一の記憶手段は組織管理情報記憶部 9 1 に相当し、第二の記憶手段はサービス管理情報記憶部 9 4 に相当し、第三の記憶手段はライセンス管理情報記憶部 9 3 に相当する。

10

【 符号の説明 】

【 0 0 9 0 】

1	システム	
1 1	クライアント端末	
1 2	携帯端末	
1 4	画像形成装置	
1 5	プロジェクタ	
1 6	その他の機器	
2 1	アクセス制御装置	
2 2	プリントサービス提供装置	20
2 3	スキャンサービス提供装置	
2 4	ポータルサービス提供装置	
2 5	他サービス提供装置	
3 0	端末装置	
3 1	入力受付部	
3 2	表示制御部	
5 0	サービス提供システム	
5 1	サービスアプリ	
5 2	プラットフォーム	
5 3	管理データ記憶部 5 3	30
5 4	プラットフォーム A P I (Application Programming Interface)	
6 1	プリントサービスアプリ	
6 2	スキャンサービスアプリ	
6 3	ポータルサービスアプリ	
6 4	その他のサービスアプリ	
7 1	認証処理部	
7 2	機器通信部	
7 3	データ処理部	
7 4	セッション管理部	
7 5	ライセンス管理部	40
7 7	組織情報管理部	
7 8	ユーザ情報管理部	
7 9	サービス管理部	
9 1	組織管理情報記憶部	
9 2	ユーザ管理情報記憶部	
9 3	ライセンス管理情報記憶部	
9 4	サービス管理情報記憶部	
9 5	データストレージ	
1 0 1	ポータル処理部	
5 0 0	コンピュータシステム	50

- 501 入力装置
- 502 表示装置
- 503 外部I/F
- 503 a 記録媒体
- 504 RAM
- 505 ROM
- 506 CPU
- 507 通信I/F
- 508 HDD
- FW ファイアウォール
- N1 ~ N3 ネットワーク

【先行技術文献】

【特許文献】

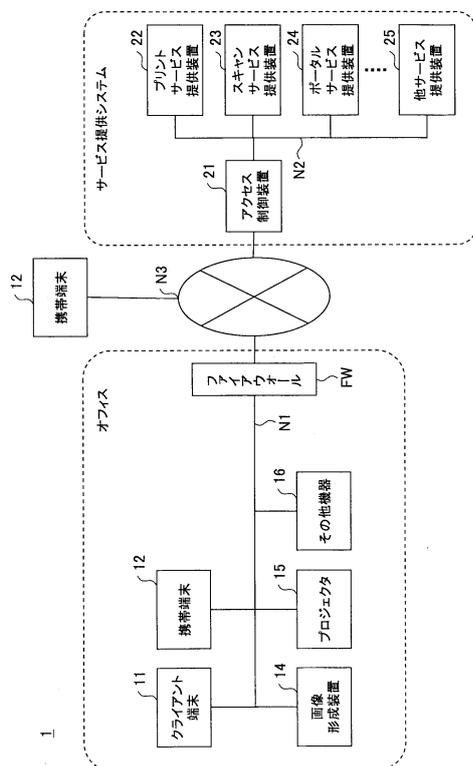
【0091】

【特許文献1】特開2005-135369号公報

【特許文献2】特開2005-258690号公報

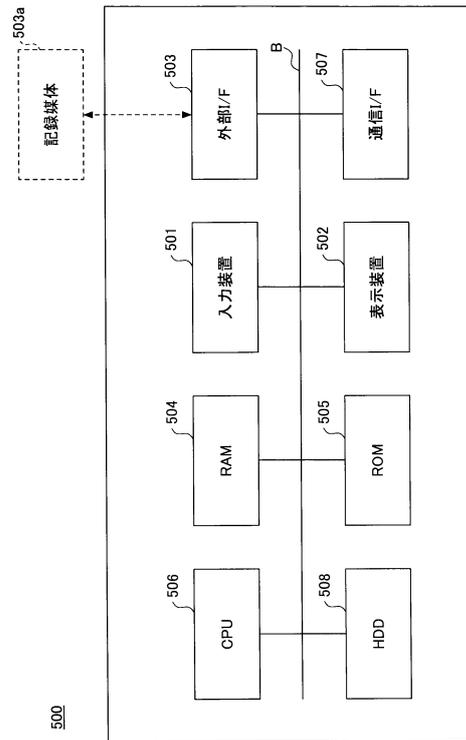
【図1】

本実施形態に係るシステムの一例の構成図



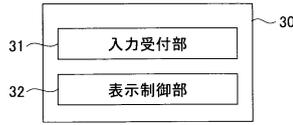
【図2】

本実施形態に係るコンピュータシステムの一例のハードウェア構成図



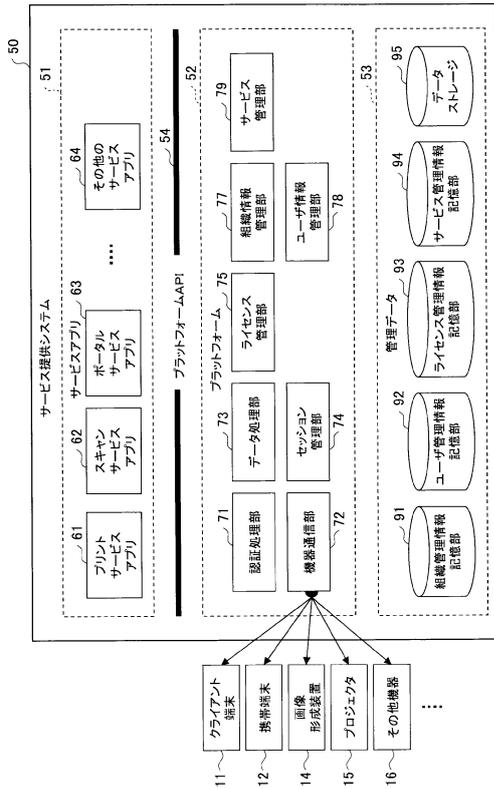
【図3】

本実施形態に係る端末装置の一例の処理ブロック図



【図4】

本実施形態に係るサービス提供システムの一例の処理ブロック図



【図5】

組織管理情報の一例の構成図

組織ID	組織名	国	...
1	企業A	日本	
2	企業B	アメリカ	

【図6】

ユーザ管理情報の一例の構成図

組織ID	ユーザID	パスワード	ルール	アドレス情報	...	姓	名	使用言語	...
1	aaa	AAA	管理者	A@aaa.com		aaa	xxx	日本語	
	bbb	BBB	利用者	B@aaa.com		bbb	yyy		
	ccc	CCC	利用者	C@aaa.com		ccc	zzz	英語	
2	aaa	ABC	管理者	A@bbb.com		aaa	vvv		
	ddd	DDD	利用者	D@bbb.com		ddd	www		

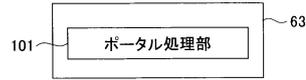
【図7】

ライセンス管理情報の一例の構成図

組織ID	開始日	契約サービス1	契約サービス2	...	アドレス情報
1	2012.6.1	プリントサービスID	スキャンサービスID	...	E@fff.com
2	2012.10.1	プリントサービスID		...	A@bbb.com

【図9】

本実施形態に係るポータルサービスアプリの一例の処理ブロック図



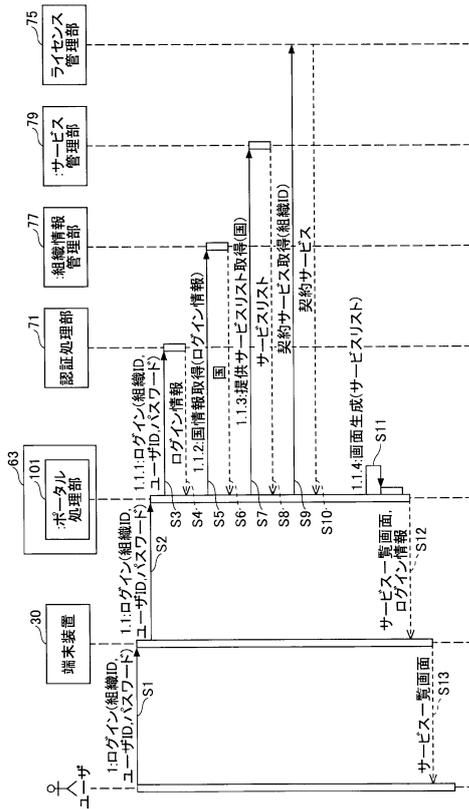
【図8】

サービス管理情報の一例の構成図

サービス	国	約款データ
ポータルサービスID	日本	aaa.doc
	アメリカ	bbb.doc
	ヨーロッパ	ccc.doc
プリントサービスID	日本	ddd.doc
	アメリカ	eee.doc
...

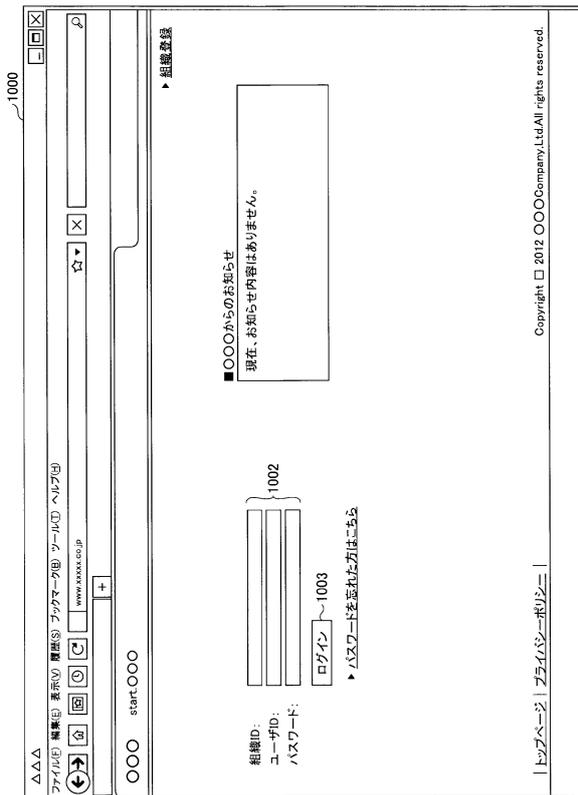
【図10】

本実施形態に係るシステムの処理手順の一例を表したシーケンス図



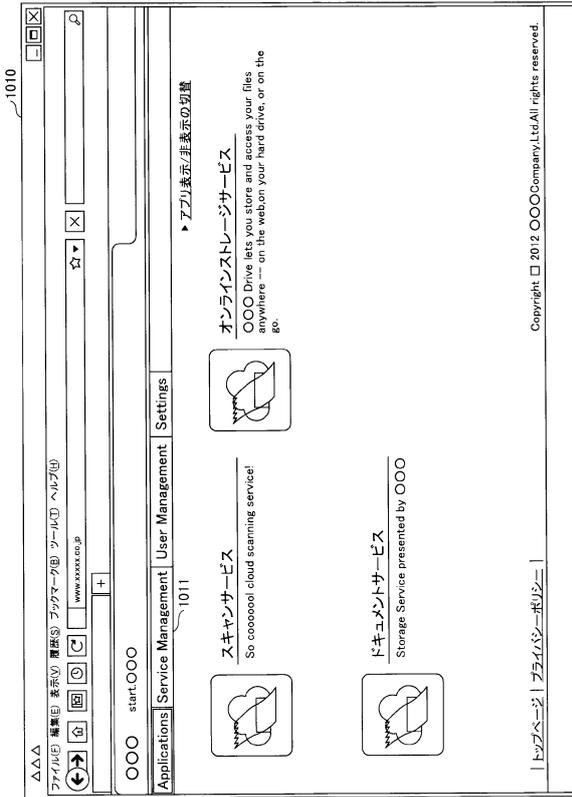
【図11】

トップ画面の一例のイメージ図



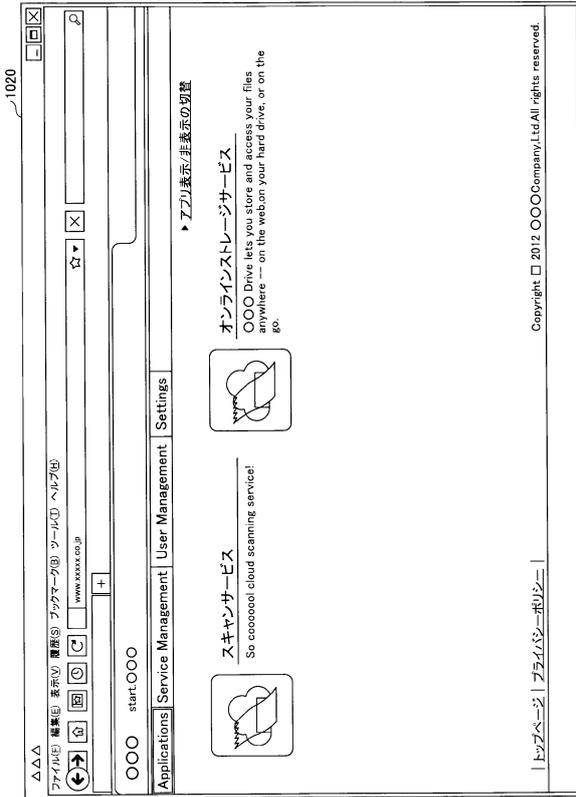
【図 1 2】

サービス一覧画面の一例のイメージ図



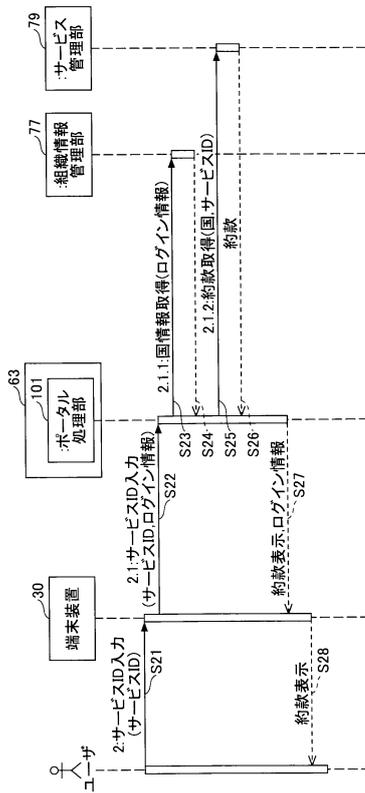
【図 1 3】

サービス一覧画面の他の例のイメージ図



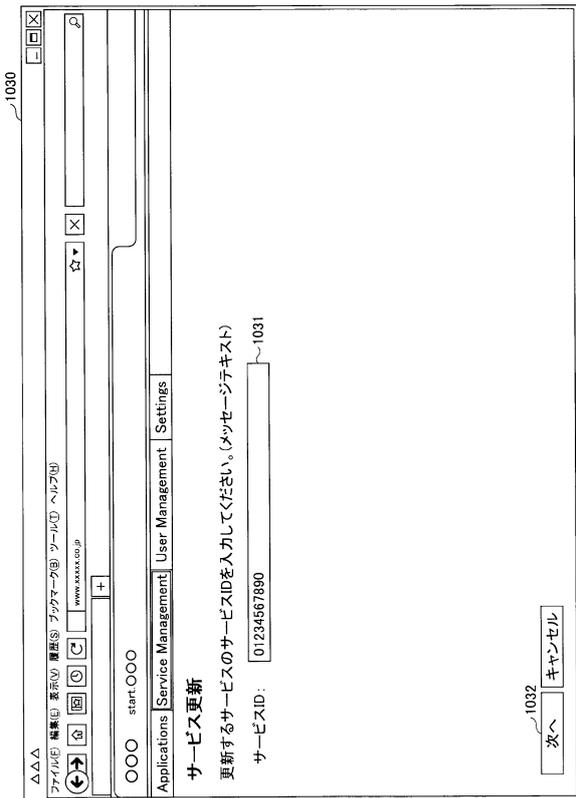
【図 1 4】

本実施形態に係るシステムの処理手順の他の例を表したシーケンス図



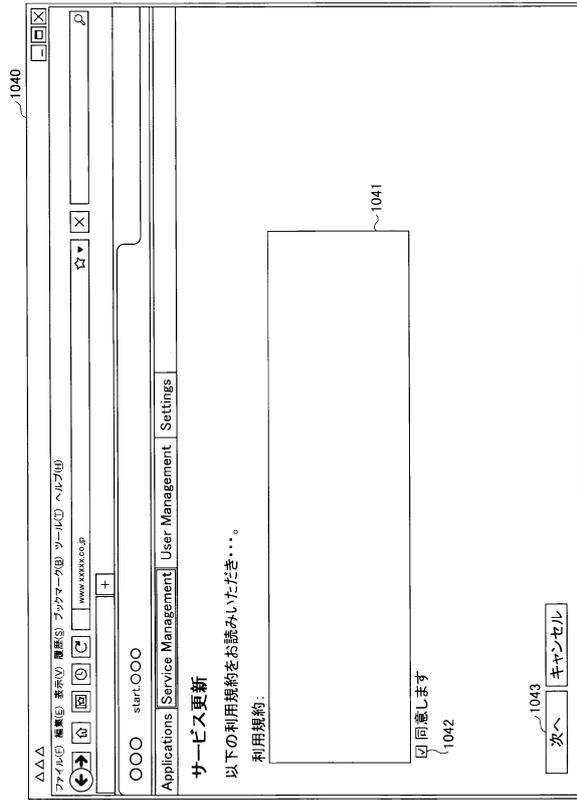
【図 1 5】

契約サービス更新画面の一例のイメージ図



【 16 】

利用規約画面の一例のイメージ図



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2009-59148(JP,A)
特表2012-501490(JP,A)
国際公開第2005/104426(WO,A2)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G06Q 10/00 - 99/00
G06F 13/00